

29

時刻調整・画面の 焼き付き防止

この章では、GP-Pro EX の「時刻調整・画面の焼き付き防止」についての基本的な説明と、時刻データの変更・画面表示を OFF するための基本操作について説明します。

まず「29.1 設定メニュー」(29-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んでください。

29.1	設定メニュー.....	29-2
29.2	時計を合わせたい.....	29-3
29.3	画面の焼き付きを防止したい.....	29-6
29.4	制限事項.....	29-10

29.1 設定メニュー

時計を合わせたい

接続機器に変更
したいデータを
設定します。

D10	8005
D11	0009
D12	0027
D13	1527

04/12/01 10:04

→

05/09/27 15:27

変更

👉 設定手順 (29-4 ページ)

👉 詳細 (29-3 ページ)

画面の焼き付きを防止したい

設定入力画面

運転操作画面

運転状況画面

異常状況画面

何も操作しないまま
一定時間が経過...

10 分
経過

画面真暗

設定入力画面

運転操作画面

運転状況画面

異常状況画面

画面を
タッチ

画面 OFF 後の最初の
タッチで画面が表示
します。

ある一定時間画面操作などが無かった場合、自動で画面表示
を OFF します。

👉 設定手順 (29-6 ページ)

設定入力画面

運転操作画面

運転状況画面

異常状況画面

接続機器で画面
表示 OFF の操
作をします。

D9 FFFF

設定入力画面

運転操作画面

運転状況画面

異常状況画面

画面を
タッチ

画面 OFF 後の最初の
タッチで画面が表示
します。

接続機器 (PLC など) から GP の画面表示を OFF します。

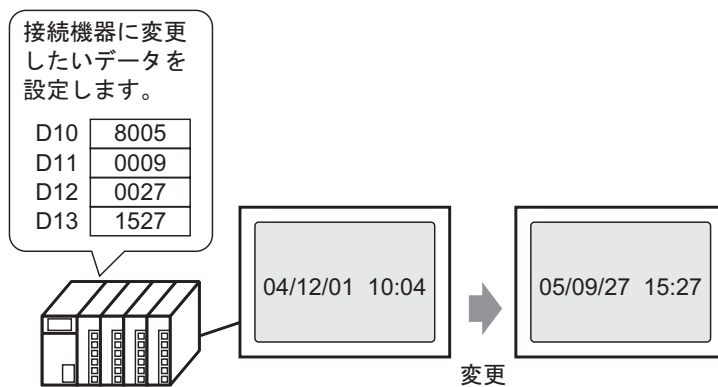
👉 設定手順 (29-8 ページ)

GP-Pro EX リファレンスマニュアル

29-2

29.2 時計を合わせたい

29.2.1 詳細



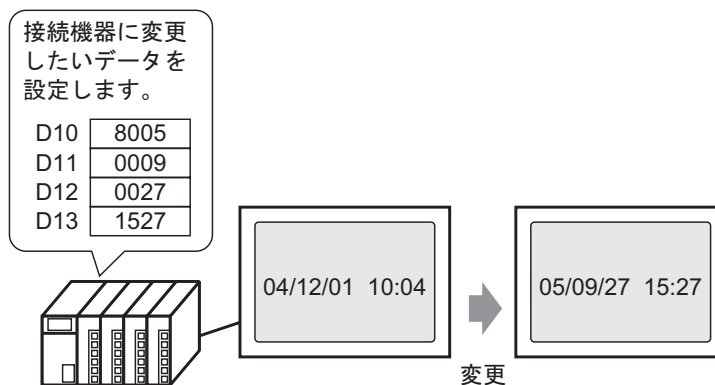
接続機器（PLC など）より GP 本体の時計データ (BCD) を修正します。

29.2.2 設定手順

MEMO

- 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「6.13.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド システムエリア設定」(6-109 ページ)



1 [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。



MEMO

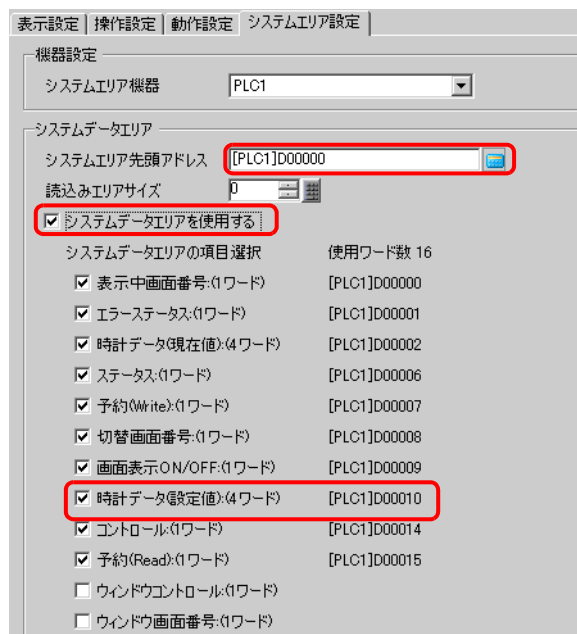
- ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。

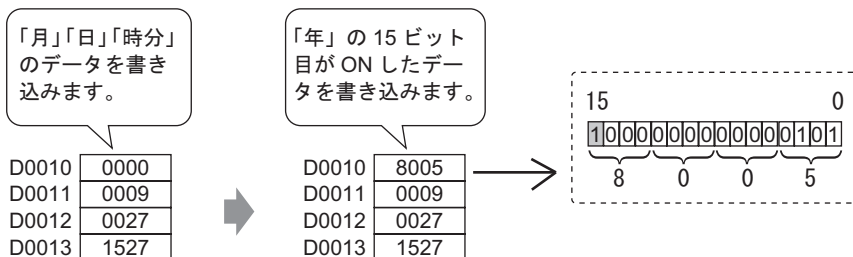


3 [システムエリア設定] タブを選択して [システムエリア先頭アドレス] を設定し、[システムデータエリアを使用する] にチェックを入れます。

[時計データ (設定値): (4 ワード)] にチェックが入っていることを確認します。



4 [時計データ (設定値): (4 ワード)] に表示されているアドレス (例: D0010 ~ D0013) に、変更したい時計データ (例: 05 年 9 月 27 日 15 時 27 分) を BCD で書き込みます。時計データはデータの書き換えフラグ (例: D0010 の 15 ビット目) が変化 (OFF → ON または ON → OFF) すると書き換えられます。データを書き込む手順は以下の手順で行います。



MEMO

- 15 ビット目が ON している場合は、15 ビット目を OFF するデータを書き込むと、時刻が更新されます。
- 「秒」のデータ変更はできません。時計データを書き換えたときに「0」にリセットされます。

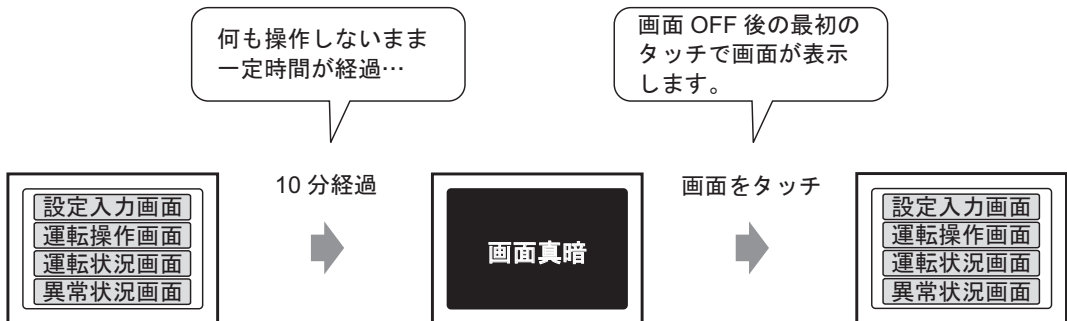
29.3 画面の焼き付きを防止したい

29.3.1 一定時間経過すると画面表示を OFF する場合の設定手順

MEMO

・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「6.13.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド 表示設定」(6-90 ページ)



ある一定時間画面操作などが無かった場合、自動で画面表示を OFF します。

1 [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

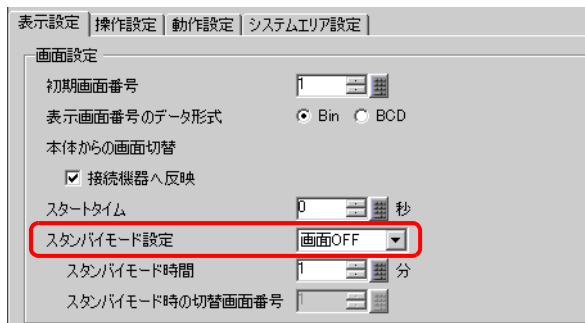

MEMO

・ ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。



3 [表示設定] タブの [画面設定] で [スタンバイモード設定] を指定します。(例：画面 OFF)



4 [スタンバイモード時間] に設定時間を指定します。(例：10)



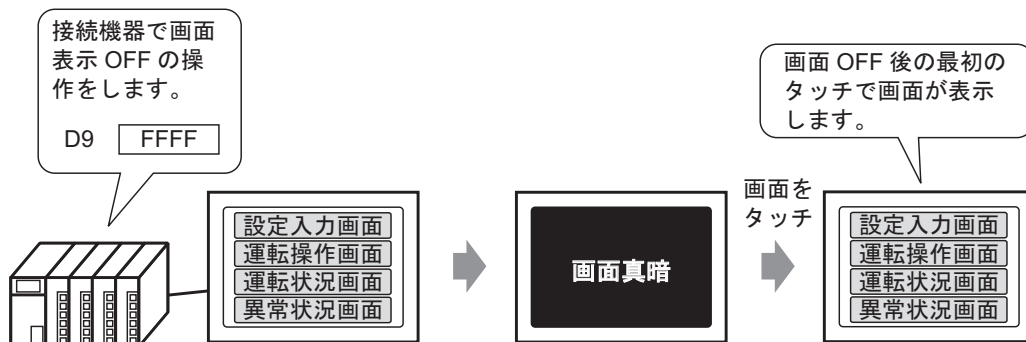
MEMO

- ・ [スタンバイモード時間] で設定した時間内に、画面操作やアラーム発生 (流れ表示) などがなかった場合、画面表示が OFF します。再度画面を表示させるには、表示 OFF している画面を 1 回だけタッチします。

29.3.2 接続機器 (PLC など) から画面表示を OFF する場合の設定手順

MEMO ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 6.13.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド システムエリア設定 (6-109 ページ)



接続機器 (PLC など) から GP の画面表示を OFF します。

1 [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。



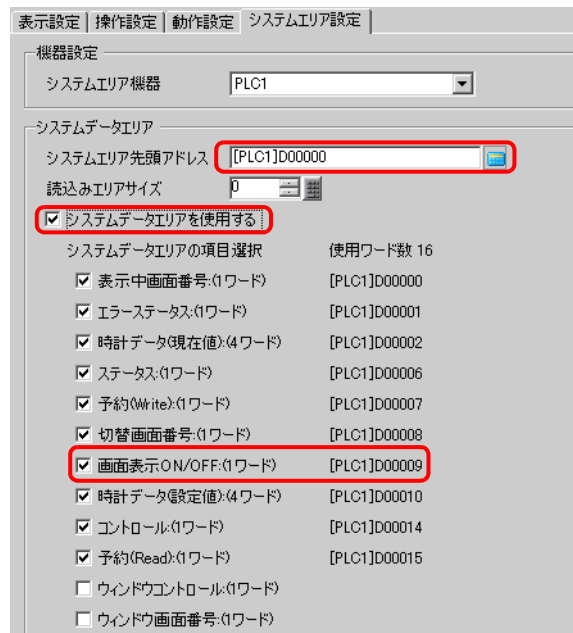
MEMO ・ ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。



3 [システムエリア設定] タブを選択して [システムエリア先頭アドレス] を設定し、[システムデータエリアを使用する] にチェックを入れます。

[画面表示 ON/OFF : (1 ワード)] にチェックが入っていることを確認します。



4 [画面表示 ON/OFF : (1 ワード)] に表示されているアドレス (例 : D0009) に、「FFFFh」を書き込むと GP の画面表示を OFF します。

MEMO ・ 画面表示が OFF している画面を再度表示させるには、画面を 1 回だけタッチします。

29.4 制限事項

29.4.1 時計を合わせる際の制限事項

- 時計データはデータの書き換え用フラグが変化 (OFF → ON または ON → OFF) すると書き換えられます。「秒」のデータ変更はできません。時計データを書き換えたときに「0」にリセットされます。

例) 05 年 10 月 16 日 21 時 57 分

[時計データ (設定値)] アドレスの現在のデータが 0000 とします。

以下のアドレスに「月」「日」「時分」を書き込みます。

- [時計データ (設定値)]+1 に 0010
- [時計データ (設定値)]+2 に 0016
- [時計データ (設定値)]+3 に 2157

[時計データ (設定値)] のアドレスに、「年」の 15 ビット目を ON したデータ (8005) を書き込むと、時計データは書き換えられます。

- 時計データの [データ形式] は BCD で設定されます。
- メモリリンク方式を使用して、時計データを設定する場合はアドレスは 0004 ~ 0008 の 5 つを使用し、それぞれ (年、月、日、時、分) のデータを直接格納します。

29.4.2 画面を OFF する際の制限事項

- [スタンバイモード時間] を設定した場合、[画面表示 ON/OFF] アドレスのデータが「0000h」で、設定時間以上、次のいずれかの動作がない状態の場合に表示が消えます。
 1. タッチまたは接続機器で画面切替えをする。
 2. 画面をタッチ操作する。
 3. アラームメッセージ (流れ表示) を表示する。
 4. エラーメッセージを表示する。
- スタンバイモード時間は「1 ~ 255」の範囲で設定します。
- 画面表示 OFF 後の 1 回目のタッチ入力画面表示 ON としての動作となります。
- 接続機器 (PLC など) から画面表示を OFF する場合、[画面表示 ON/OFF] に設定したアドレスに格納される値が「FFFFh」ならば画面表示が消えます。「0h」の時は画面表示します。「FFFFh」, 「0h」以外は予約となります。